



栃木県文化功労者 柏村 祐司氏



栃木県では、毎年、県の文化の振興に著しく貢献した方を栃木県文化功労者として表彰しています。令和元年度は、民俗学者の柏村祐司氏が受賞されました。これを記念して、県立図書館が所蔵する資料の中から氏の著作や論文等を中心にご紹介します。

■ 柏村 祐司(かしわむら ゆうじ)氏

1944年、宇都宮市に生まれる。宇都宮大学卒。県文化財保護審議会委員、鹿沼市川上澄生美術館長、県歴史文化研究会常任委員長などを歴任。主な著書に『語りべが書いた「下野の民話」』『下野の手仕事』『栃木民俗探訪』など。
参考：『栃木の祭り』(柏村祐司／著 随想舎 2012)、
「県文化功労者に柏村氏／民俗学で地域文化振興」(『下野新聞』2019年10月31日21面))

■ 著書

書名	請求記号	資料コード
しもつけのくらしとすまい	T383/10/C	1105101404
下野の食べ物と着物(くらしの民俗学シリーズ 4)	T380/23/4C	1101973616
下野の手仕事	T750/8/C	1104933872
語りべが書いた「下野の民話」	T388/121/C	1105019143
栗山の昔話	T388/129/C	1105341992
栃木の祭り	T386/116/C	1105690422
とちぎメディカルヒストリー	T498/5/C	1105764425
宮の伝統料理 ふる里の和食継承事業	T386/120/C	1105955205
新語りべが書いた下野の民話	T388/121/2C	1105891202
ふる里の和食 宇都宮の伝統料理	T596/60/C	1105934119

■ 雑誌記事・論文

記事・論文名	雑誌名	ページ	請求記号
ふる里とちぎ民俗散歩① ～獅子舞で繋ぐむらの絆～(西小来川)	しもつけの心 第32号	p.26-27	1401
絵馬の概念規定 ー栃木県の絵馬調査をもとにした試論ー	栃木県立博物館研究紀要 第3号	p.117-136	T069/17/3C
大谷石切りをめぐる民俗	歴史と文化 第16号	p.66-77	T205/23/16C
上久我における山仕事の民俗誌	かぬま歴史と文化 鹿沼市史研究紀要 第1号	p.39-54	T221/40/1B
押上のくされ鮎 見聞記	氏家の歴史と文化 第11号	p.51-55	T256/15/11C
帝釈山間信仰における自給ワナ猟	下野民俗 第50号	p.25-38	T380/2/50C
「地域民俗学の歴史と現状」 栃木県における民族研究の歴史と現状	下野民俗 第51号	p.1-13	T380/2/51C

● その他

書名	著者名	請求記号	資料コード
栃窪の天念仏 鹿沼市民俗文化財調査報告書 第二集	尾島利雄, 柏村祐司／編	T718/21	1104588999
人物でみる栃木の歴史(p.433-456) 柏村祐司/著「濱田庄司 益子を世界に広めた偉大な陶芸家・民藝運動家」	栃木県歴史文化研究会 ／編	T280/65/C	1105545253
日光近代学事始 続(p.11-27) 柏村祐司/著「日光山地の鹿狩習俗」	栃木県歴史文化研究会 近代日光史セミナー／ 編	T222/182/2C	1104875479

本リストの資料はすべて3階地域資料室の展示コーナーにあります。
本リスト以外にも資料があります。資料検索でお調べいただくか、職員にお尋ねください。

